

衆議院文部科学委員会ニュース

平成 23.8.3 第 177 回国会第 16 号

8月3日(水) 第16回の委員会が開かれました。

1 文部科学行政の基本施策に関する件

- ・参考人から意見を聴取することに協議決定しました。
- ・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

(参考人) 独立行政法人放射線医学総合研究所理事長 米倉 義晴君
独立行政法人日本原子力研究開発機構理事長 鈴木 篤之君

(質疑者及び主な質疑内容)

本村 賢太郎君(民主)

- ・子どもと大人を区別した放射線量の基準を設ける必要性及び放射線汚染に対する心のケアの必要性について米倉参考人の見解を伺いたい。

高野 守君(民主)

- ・放射性廃棄物の処理対策についての鈴木参考人の見解を伺いたい。

馳 浩君(自民)

- ・環境中の放射性物質に対する基準値の設定方法についての鈴木参考人の見解を伺いたい。

瑞慶覧 長 敏君(民主)

- ・学校のプール除染の取組について、除去された放射性セシウムを含む沈殿物の一時保管の現状、この除染に要した経費の額とその負担者について、鈴木参考人の意見を伺いたい。

宮本 岳志君(共産)

- ・学校教育において放射線理解のための授業を実施するに当たっては、放射線のリスクについても科学的にきちんと説明する必要があると思うが、米倉参考人の見解を伺いたい。

石井 登志郎君(民主)

- ・放射線に対する生体防御能力は、人種によって差異はあるのか、また、高自然放射線地域住民は後天的に何らかの遺伝的特質を獲得することはあるのかについて、

米倉参考人の見解を伺いたい。

熊谷 貞俊君(民主)

- ・福島第一原子力発電所事故の初期段階での炉心状況の把握における日本原子力研究開発機構の対応について、鈴木参考人の見解を伺いたい。

池坊 保子君(公明)

- ・医療従事者や航空機搭乗員など低い線量の放射線を浴びて作業している労働者に関する健康調査の現状と研究の必要性について、米倉参考人の見解を伺いたい。

松崎 哲久君(民主)

- ・放射線に関しては、科学的知見が国民の間で共有されていない状況であり、その理由は情報発信不足であると考え、鈴木参考人の見解を伺いたい。

平山 泰朗君(民主)

- ・映画「チェルノブイリ・ハート」によれば、チェルノブイリ原発事故後、奇形児の出産が増加したとされているが、実際の状況及び今回の事故後の日本における可能性について、米倉参考人の見解を伺いたい。

下村 博文君(自民)

- ・放射能を除染する範囲についてどれくらいどこまで行うのかといった基準・目安を提案する必要があると考えているが、鈴木参考人の見解を伺いたい。

山 田 良 司君（民主）

- ・低線量の放射線を長期に受けた場合の人体への影響については「がん」以外に関して考慮する必要がないのか、米倉参考人の見解を伺いたい。